

LCV「諏訪圏情報BOX」(第1回)

- 放送日 平成30年4月24日(火)、5月1日(火)
- テーマ しあわせ信州創造プラン2.0について
- 出演者 諏訪地域振興局企画振興課 課長 小口 秀昭
- 聞き手とのやりとり(概要)

Q1 しあわせ信州創造プラン2.0とはどのようなものですか？

A1 しあわせ信州創造プラン2.0は、「どんな長野県をめざすのか」という大きな方向性を示すものでございます。

県には個別分野の計画が主なもので約90ございますが、このプラン2.0は、これらのうち最も上位に位置付けられる、県政運営の基本となる計画で、概ね12年後の2030年の将来を展望して、これを実現するための今後5年間の行動計画となります。

Q2 「2.0」とついていますが、今までの「しあわせ信州創造プラン」と何が違うのですか。

A2 このプランの基本目標である「確かな暮らしが営まれる美しい信州」は、前回計画から継続していますが、これに「学びと自治の力で拓く新時代」との副題を付けまして、未来志向の計画としてバージョンアップをしたため、プラン名の最後に「2.0」がついています。

Q3 副題の中の「学びと自治の力」は、今回の計画のキーワードとなりそうですが、何を意味するのでしょうか。

A3 かつて、「教育県」と呼ばれた長野県には、今も学びの精神が息づいています。

急激な人口減少、技術革新やグローバル化など、変化が激しい時代にあって、県民の皆様が人生を楽しみ、しあわせに暮らすためには、それぞれが主体的に学び、協働して地域の課題を解決していく力、すなわち自治の力がより重要になってくると考えています。

この「学びと自治の力」を政策推進のエンジンとして、プランを実行してまいりたいと考えております。

Q4 その他に今回のプランにおいて特徴的なことはありますか。

A4 地域重視の観点で「地域計画」を充実させました。広い県土の中に独自の文化や伝統

を持つ個性豊かな地域が形成されていることは、長野県の強みであり大きな魅力であると考えています。

そのため、地域・現場重視の県政を進めるべく、昨年4月に設置した地域振興局が中心となりまして、市町村や様々な団体等の皆様とも対話を重ね、10の広域圏ごとの地域計画を、出来る限り特色ある形でまとめています。

Q5 プラン2.0には、10広域圏ごとの地域計画があるとのことですが、諏訪地域の計画は、どのような内容ですか。

A5 まず、諏訪地域の目指す姿として、「諏訪湖や八ヶ岳が育む豊かな自然と、地域の強みを活かした競争力のある産業が共存する地域の実現」を掲げておりまして、いずれも諏訪地域の大きな特色であり、重要な視点であると考えています。

また、諏訪地域の重点政策として4つ掲げており、
一つ目は「産業競争力の強化、地域を支える人材の確保・育成」
二つ目は「諏訪湖を活かしたまちづくりの推進」
三つ目は「選ばれ続ける観光地域づくり」
四つ目は「安全・安心な地域づくり」となっています。

特に当諏訪地域では、2つ目の「諏訪湖を活かしたまちづくり」については、計画の実効性を高めるため、「諏訪湖創生ビジョン」も併せて策定したところでございます。

これら重点施策等につきましては、次回5月8日以降の放送にて、お話をさせていただきますと思いますので、宜しくお願い致します。

Q6 しあわせ信州創造プラン2.0は、どこで見ることができますか。

A6 県のホームページで見ることができるほか、来月、5月11日金曜日の午後2時から諏訪合同庁舎において説明会の開催を予定しております。

説明会については、一般の方も参加できますので、興味のある方は是非ご来場ください。